

春日権現験記 20軸 WA31-13

02-001



WA 31  
13  
(2)



国立国会図書館



春日権現験記 20軸 WA31-13

02-002



国立国会図書館





去年乃沛願小ありて寛治七年三月舞入一  
 負なりし事春日社小沛幸あり事小  
 此中しき儀式を以てこれ東内大臣下付  
 拜小は左大臣陪從の列小加立先例あり  
 かく神威も揚寫おるは其後康和年中  
 一切經論をうせられて社小經藏小す百是  
 僧を、不れて薄讀せらぬ越前國河口庄を以  
 かく供料小寄進場らるるは是自れは社を







一切經論をうせらして法小經藏傳して百是  
 僧を、ふれて薄讀せらぬ越前國河口庄を以  
 かく供料小寄進場らるるに先首は法を  
 謝申されし事ありけり乃て代々清教神傳  
 小とら脱幸若連綿とて世世に傳ふ又  
 伊房口乃小如免夢の法言ありて清經藏に  
 小類をいふにふきをまゝに傳ふゆゆ  
 且て小伊房に於て經藏乃南門小に於て  
 現互ありけり也







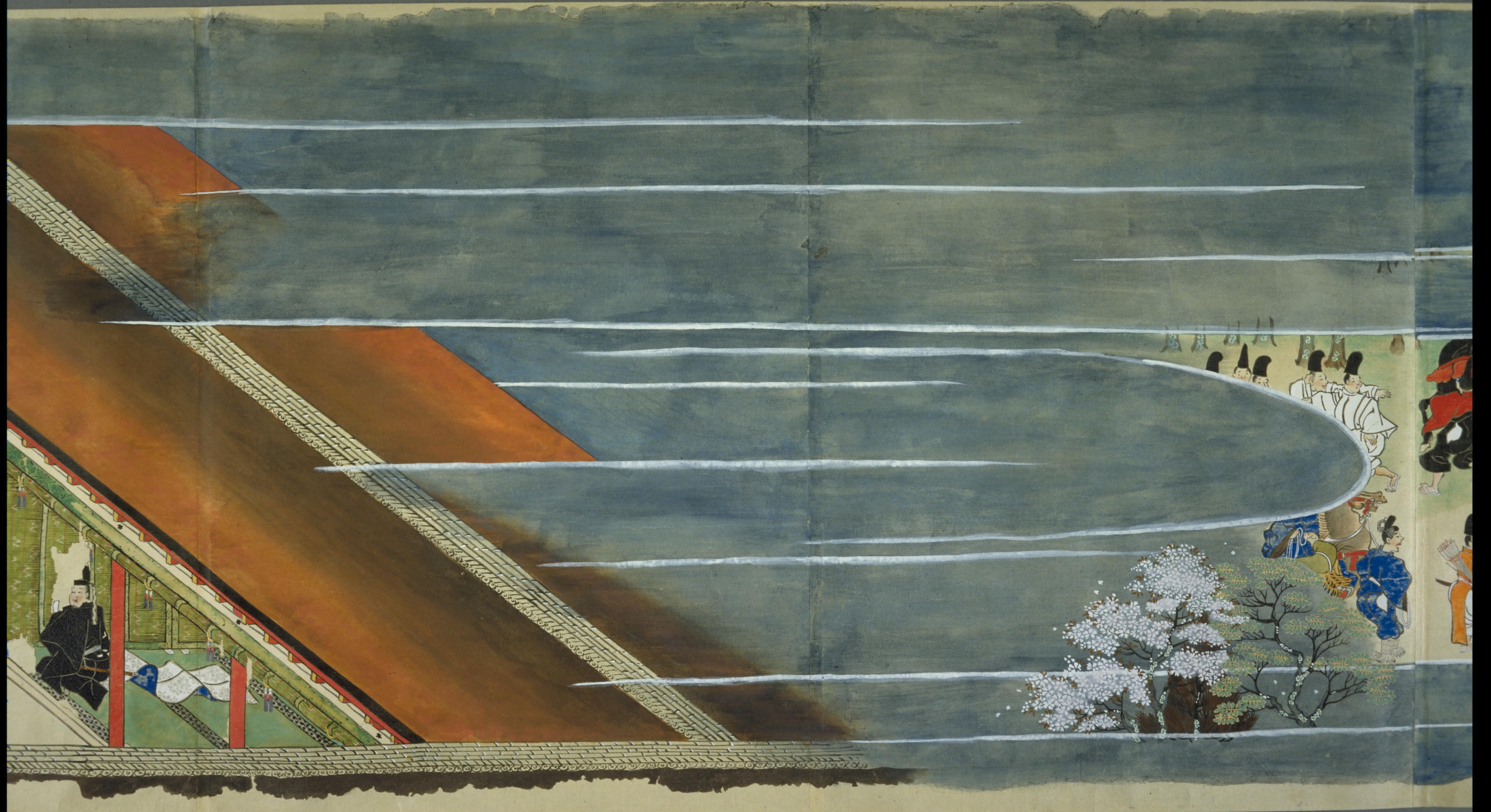


















永久元年延暦寺乃畠邊清水寺をやまらふ  
 興福寺乃末寺なるにありて中央に御まふ御まふ  
 かりて京邊發向ちるに云家守兵をつらてこ  
 けをふせつらりて朝威ふもくもく此采駒ふ此  
 官兵と合戦をいす皇く此に送麟あつて南  
 都を追討せらるるに沙汰ありり此時御理大夫顯季  
 卿仙洞乃臣小て此あつて恐むの執卷申らるる  
 祓君の聖運、專春日大明神に冥助せといふ系  
 神魂をわかしし給ふまに申何事小も仰あはれ  
 君いさふく清浄をいし清浄乃天井小震動事  
 侍り大小あやし給ふまに神は静ありて御執大  
 神官乃其くふりて正神をいしをいして海つ邊  
 春日大明神也に侍せらるるに清浄實尤  
 あつて申らるるに御て勅答いかりし御いし  
 征討をやめし御







春日権現験記









二  
三  
四  
五  
六  
七  
八  
九  
十  
十一  
十二  
十三  
十四  
十五  
十六  
十七  
十八  
十九  
二十





二条開白殿出仕乃時鈕をわかれ侍せ給と  
 巳は系女房より入り入るとは言ふ海いせむ  
 志をれ冬用白殿よりとるにやありて鈕を  
 清いさ乃志大女をきて不えみて給は女房か  
 二海寺あや一えて返まいれ清車のうらやのま  
 鈕はいりて海いら怒りやに海いせむを返いあ  
 ありを思てり魚り入い又と侍きのと一は  
 春日乃大明神北をりいりい海いを終て  
 かや小現給と我に時人申あ毎にりて此為の  
 寺社をあのじろ法心所あつて寺より使され  
 了つ子細紙小のなきを給てのちを清膳なきを  
 海いりあつ









